

## 未来へのパス project

### Concept & Mission

ラグビーを通じて世の中の役に立ちたい。

ラグビーを経験した多くの者はなぜかそう思う。

そうゆう様々な思いをまとめて、

未来にパスを放つ、美味しさてんこ盛りのプロジェクトである。





プレミアムシートでのフードサービス



あんこプロジェクトのコンセプト



グルメガーデンのキッチンカー

2024年「北海道ラグビーの日」では、地域の魅力を発信し、ラグビーを通じた北海道の活性化を目指す「未来へのパスプロジェクト」を実施した。北海道の食とラグビーの融合により、来場者の皆様に地域の豊かさを体験いただける内容となった。

クボタスピアーズ vs コベルコ神戸スティーラーズ

日本代表 vs イタリア代表

### 【道産食材ビュッフェサービス付きプレミアムシート】

飲食付き限定シート購入の皆様はラグビー応援生産者からご提供いただいた新鮮な北海道産食材を使用し、特別なオリジナルビュッフェを用意した。地産地消の観点からも、地域産の食材を活かした料理は多くの来場者に「北海道ならではの味わいを楽しめた」と好評を博し、地域農産物への理解を深めていただける機会となりました。

### 【あんこプロジェクト】

今回も北海道の老舗菓子店サザエ食品と月寒あんぱん様のご協力を得て、北海道産小豆を使った栄養豊富なあんこ商品の無料配布を行った。特にアスリート食としての小豆の有効性について周知し、健康的なエネルギー補給源としてのあんこの魅力を発信した。配布ブースでは、来場者に試食いただきながら、スポーツにおける小豆の活用方法を紹介するリーフレットを配布した。

### 【北海道の恵みをラグビーで広める】

日本代表戦では北海道果樹協会の協力により、さくらんぼの無料配布を実施した。北海道産のさくらんぼの美味しさを体感いただく機会となり、「新鮮で甘く、驚くほど美味しかった」との声が寄せられた。

地元産のクラフトアルコールとして、上川大雪（日本酒）と積丹スピリット（クラフトジン）を無料で試飲いただき、北海道のクラフトアルコールの魅力を楽しんでいただいた。地域産のアルコールが持つ個性ある風味に「今度、旅行先でまた北海道のお酒を選びたい」との声も聞かれ、地域経済への波及効果も期待される。

### 【グルメガーデン】

回を重ねて認知度も上がってきたグルメガーデンだが、今年初の試みとして、北海道ラグビー協会のキッチンカーを出店し、ラグビー応援農家さんの食材を使用したオリジナルカレーを提供した。生産者のポップも掲示し、来場者に生産者への理解と親しみを深めてもらうとともに、会場が賑やかに盛り上がる一因となった。

## 児童養護施設支援プロジェクト(リーチ マイケルプロジェクト)

### Concept & Mission

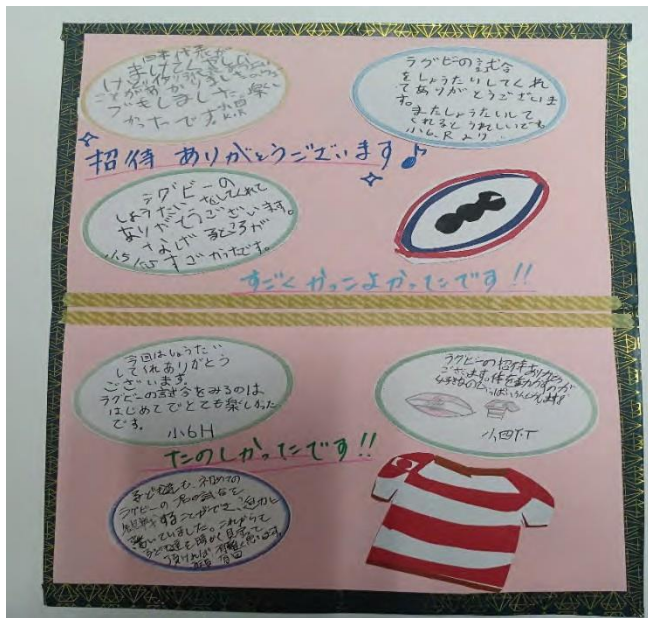
仲間を大切にするラグビーには、全ての人の心を救う力がある。

児童養護施設で暮らす子供たちをラグビーの試合やイベントに招待をして

ラグビーを通じて心身ともに強くなってもらいたい。

また、今後は将来への支援活動もしていき、

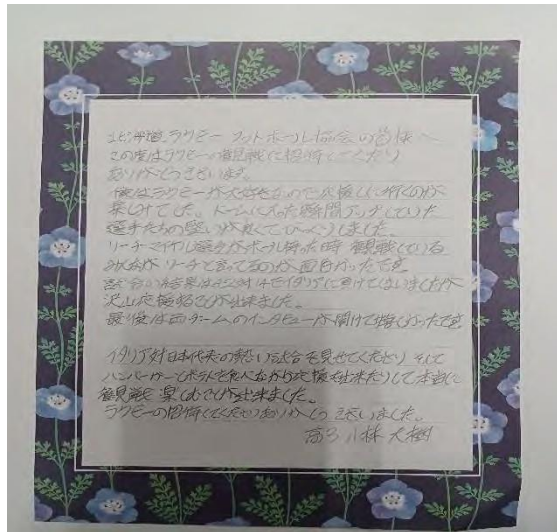
ラグビーを通じた交流が出来ればと思っている



4/21 ジャパンラグビーリーグ ONE 初開催「クボタスピーアーズ VS コベルコ神戸スティーラーズ」戦には、札幌育児園の子供たち4名が参加してくれた。試合後の選手との交流イベント「スピーアーズタイム」にも参加してくれて、楽しい時間を過ごすことが出来た。

また、7/21「日本代表 VS イタリア代表」戦には、札幌育児園から3名、羊ヶ丘養護園から5名、興正学園から1名とたくさんの子供たちに参加を頂いた。初めて見る人や日本代表戦が初めてという子供たちもいて、札幌出身のリーチマイケル選手に大きな応援をしてもらった。また、両試合ともいつも児童養護施設の支援を頂している「北灯りの会」会長の須田様と一緒に観戦されて、「皆で楽しく観戦することが出来た」と非常に喜んで頂いた。

次年度以降も、子供たちへのラグビーの魅力や文化を伝えて、将来プレーヤーになってくれたらと思うとともに、児童養護施設を支援する団体とも協調をしながら未来ある子供たちを支援して、未来が子供たちにとって明るいものになってもらえるように、就職や進学支援も出来ればと考えている。



観戦招待への心のこもったお礼のお手紙



## スクラムユニゾン

### Concept & Mission

テストマッチでは両国の国家が歌われる。

日本代表が闘う相手チームの国家を大声で歌うことで  
試合を盛り上げる活動を展開しているのがスクラムユニゾンである。

ラグビーワールドカップをきっかけに始まったこの活動は

日本代表戦の風景として定着した。

HRFU はスクラムユニゾンとスクラムを組んでいる。





山の手高校での全校生徒練習会




試合前のサポーターとの練習会

## 日本代表 vs イタリア代表

7月21日の試合本番に先駆け7月11日にスクラムユニソンの村田匠さんと田中美里さんが札幌山の手高校に赴き、全校生徒と練習会を行った。

練習したのはイタリア国家と日本代表応援ソング。

そして当日も屋外広場で多くのサポーターたちと大声で練習し、本番では会場を盛り上げて頂いた。

 **Scrum Unison / スクラムユニゾン**  
@ScrumUnison

🌸 MATCH DAY / スペシャル応援動画 🇯🇵🇮🇹

札幌に来ております🇯🇵ファンの皆さんと一緒に作った『Go! Brave Blossoms』をリーチ マイケル選手の母校・札幌山の手高校のみんなどと一緒に歌ってみました🔥かけ声はラグビー部キャプテン🏉

### Go Brave Blossoms～東からの勇者～

Produced by takumi.m

**Chorus**

ゴー ブレイヴ ブロッ サムズ ゴー ウィズザ ブレイヴ

ゴー ブレイヴ ブロッ サムズ ウィー アーザ ブレイヴ *Fine*

**Go! Brave Blossoms!**  
**Go with the BRAVE!**  
**Go! Brave Blossoms!**  
**We are the BRAVE!**

★歌練習動画(YouTube)は以下QRコードから★



歌でジャンプを応援出来ないかなあって考えていました。今回が初めての試みです🌸


### ■ L'inno di Mameli / マメーリの賛歌 (イタリア国歌) ■

Word: Goffredo Mameli  
Music: Michele Novaro

#### 【A】

フラテッリ ディタリア リタリア セ デスタ  
Fratelli d'Italia, l'Italia s'è desta,  
デッレル モディ シピオ セ チンクラ テスタ  
dell'elmo di Scipio, s'è cinta la testa.

#### 【B】

ドヴェ ラ ヴィットーリア  
Dov'è la Vittoria?   
レ ボルガラ キオーマ  
Le porga la chioma  
ケ スキアーヴァ ディ ローマ  
chè schiava di Roma  
イッディーオ ラ クレオ  
Iddio la creò.



#### 【C】

ストゥリンジャムチア コールテ スィアム ブロンティアッラ モルテ  
Stringiamci a coorte, siam pronti alla morte.  
スィアム ブロンティアッラ モルテ リタリア キア モ スィ  
Siam pronti alla morte, l'Italia chiamò!

#### 【D】

ストゥリンジャムチア コールテ スィアム ブロンティアッラ モルテ  
Stringiamci a coorte, siam pronti alla morte.  
スィアム ブロンティアッラ モルテ リタリア キア モ スィ  
Siam pronti alla morte, l'Italia chiamò! Sì!

🔥 歌うコツ 🔥

- ・「=」の部分はつなげて歌います♪
- ・最近歌詞が変わった珍しい国歌です。



## ラグビーどうでしょう

### Concept & Mission

人気番組「水曜どうでしょう」チーフディレクターの藤村忠寿氏は  
北海道ラグビー協会アンバサダーである。

HRFU の独自企画「ラグビーどうでしょう」において  
ラグビーの魅力を「分かり易くかつ楽しく、そして全力で」広めてもらっている。



リーグワンの試合前の見どころ紹介

### クボタスピアーズ vs コベルコ神戸スティーラーズ

試合前のピッチ上でラグビーの面白さや試合の見どころについて丹羽政彦 HRFU 理事と語り合ってもらった。ハイレベルの試合には勝負を分けるポイントが必ずある。それを事前に頭に入れて観戦すると試合の見え方が一変する。それを「分かり易くかつ楽しく」を主眼に今後も続けて行きたい。

進行は HTB の高田まゆみさんに務めて頂いた。いつも笑顔でラグビーに興味をもって話を進めて頂ける。

### 日本代表 vs イタリア代表

テストマッチを 10 日後に控え、試合情報を一般に広めるべく札幌駅前地下歩行空間、愛称チカホで公開イベントとして開催した。試合の見どころに加え、マイケルリーチ選手の山の手高校時代の恩師である佐藤幹夫 HRFU 理事長にマイケルリーチ選手との思い出話を話してもらった。ゲリラ的なイベントではあったが、コアファン以外にも興味本位で参加した方もいた。今後も不定期ながらも開催の機会をつくりたいと考える。



札幌駅前地下歩行空間チカホで日本代表戦の見どころ